

輸入検疫で発見された主な病害虫

平成元年に輸入された植物から発見された重要病害虫は別表のとおりである。

このなかで、わが国が侵入を警戒しているチチ

ユウカイミバエ、ミカンコミバエ、ウリミバエ、コドリノガなどが旅行者により持ち込まれた果実類から数多く発見されているのが注目される。

発見病害虫	寄主植物別発見回数	輸出国別発見回数
<i>Ceratitis capitata</i> (チチュウカイミバエ)	ミカン(1)、トウガラシ(1)、トケイソウ(1)	ガーナ(2)、オーストラリア(1)
<i>Dacus cucurbitae</i> (ウリミバエ)	ササゲ(2)、インゲン(2)、ヘビウリ(2)、キュウリ(2)、ニガウリ(1)、ハヤトウリ(1)	タイ(7)、台湾(2)、フィリピン(1)
<i>Dacus dorsalis</i> (ミカンコミバエ)	マンゴウ(34)、パイン(18)、パインシロウ(16)、ゴレンシ(15)、レンブ(10)、他28種(66)	台湾(55)、タイ(55)、フィリピン(27)、香港(8)、他7ヶ国(11)、不明(2)
<i>Dacus tryoni</i> (フィンスランドミバエ)	マンゴウ(1)、レンブ(1)	オーストラリア(2)
<i>Cydia pomonella</i> (コドリノガ)	リンゴ(1)	イラン(1)
<i>Cylas formicarius</i> (アリモドキソウムシ)	サツマイモ(3)	台湾(2)、フィリピン(1)
<i>Euscepes postfasciatus</i> (イモソウムシ)	サツマイモ(1)	不明(1)
<i>Colletotrichum capsici</i>	トウガラシ(7)	タイ(4)、マレーシア(1)、他2ヶ国(2)
<i>Anastrepha fraterculus</i> (ミナミアメリカミバエ)	コーヒーノキ(1)、マンゴウ(1)	ブラジル(2)
<i>Anastrepha ludens</i> (メキシコミバエ)	マンゴウ(1)	メキシコ(1)
<i>Dendroctonus brevicornis</i> (アメリカマツノコキワイムシ)	ボンテローザバイン(1)	アメリカ(1)
<i>Dendroctonus ponderosae</i> (アメリカマツノコキワイムシ)	ボンテローザバイン(1)、ホワイタバイン(1)、ロジボールバイン(1)	アメリカ(3)

難民船漂着に伴う植物検疫と侵入警戒調査

昨年5月から10月にかけて西日本各地に難民船が相次いで漂着した。

これらの難民は、いずれも中国、ベトナムからの出国者で、これらの船には食料品として植物類が積み込まれており、各植物防疫所は難民が所持している植物類の携帯品検査、難民が下船した後の船内検査を実施した。

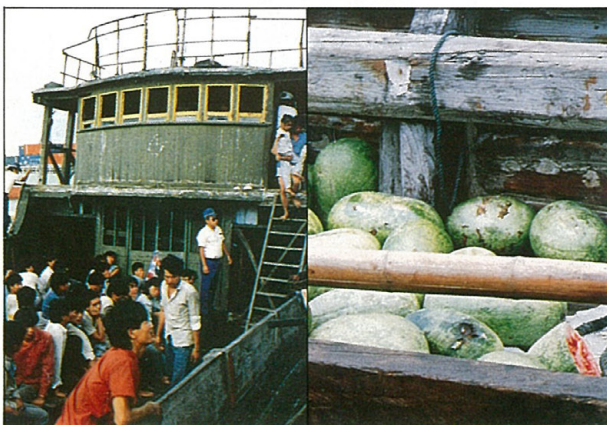
植物類のなかには輸入禁止品であるリンゴ、スイカなどの生果実があり、焼却廃棄を行った。ま

た、船内に放置されたコメ、薪などには害虫が付着していたものもあり消毒を実施した。

難民船の漂着地ではミバエ類等の侵入が懸念されたことから、各植物防疫所は漂着地及び係留地にトラップを設置し、ミカンコミバエ、ウリミバエ、コドリノガを対象とした侵入警戒調査を実施した。調査地点のなかには離島が含まれていたことから、その地域を管轄している病害虫防除所の協力を得て実施した。

調査の結果、対象の害虫は発見されなかった。

今年も既に難民船が長崎県に漂着していることから、今後も関係機関と連絡を密にして検疫・侵入警戒調査を行うこととしている。



入港した難民船

船内に放置されたスイカ

発行所 横浜植物防疫所
〒231 横浜市中区北仲通6-64 ☎(045)211-2299
発行人 松本安生
編集責任者 長尾記明
印刷所 内村印刷株式会社